

「コロナ・パンデミック時代のコミック・ブックの性格 ～アメリカ人の心の洞察～」

Comic Book characters in the age of the corona pandemic: Insights into the American psyche
by Tim Newfields

様々な社会や文化においてヒーローと悪役について考察する必要があるのかどうか、考える価値があるかもしれません。この点について、カーライル(1908)、ルール(2001)、キャンベル(2008)が示唆するのは、英雄は与えられた社会の文化的理想を体現しているというものです。逆に言えば、悪人や悪魔はそれらの理想の対極にあるものです。特に、同じ人物をヒーローに仕立てたり、悪役にしたりして、物語がどのように調整されるかを観察する事はとても興味深いことです。

例えば、保守系メディアはドナルド・トランプ氏を、退廃的なリベラリズムに対抗する正義のヒーローとして描いています。反対に、左翼メディアは、彼を貪欲、欲望、傲慢の体現者として描いています。英雄や悪役にテレロジカル(または神学的)な次元が与えられることは、一般的です。彼らはしばしば、普通の無力な人間とある種のより高い力の間とのゲートウェイとして見られます。ヒーローは、慈悲深く、倫理的で賢明であるように見えます。それに対し悪役は、邪悪であり、利己的であり、破壊的な力を提供するか、実際にその権力そのものになったりします。

ここで、「悪役は悪魔とどう違うのか?」という疑問が生じます。どちらも社会的なアイコンですが、人を「悪魔」と表現することで、多くの宗教的なレトリックを物語の中に投げ込みます。読者の皆さんもご存知のように、キリスト教における悪魔とは高慢の罪が憎しみに変わった墮天使のことです。一般的に西洋の悪魔の主な目的は、人間の魂を誘惑し、神の権威を否定することを好む狡猾な悪者として描かれています。

キリスト教は、アメリカのほとんどの地域で現在も主要な宗教であり続けています。しかし、2020年のPRRIの調査によると、キリスト教の影響力は、アメリカの一部の地域、特に若者の間で低下しています。一部の人々にとって、コミックブック(今日では映画と連動していることが多い)は、まるで宗教のような意味合いを持っています。オコーネル氏が言うように、「多くの映画の観客は、しばしば映画は治癒力と憂鬱な時に観客の精神を高める方法を持つことを忘れることがよくあります(オコーネル 2021 p16)」気分を高揚させ、インスピレーションを与える映画には、私たちの生活を変える能力があります。映画館が教会に取って代わる可能性は低いですが、何百万人もの視聴者がお気に入りの漫画本のヒーローを賞賛するために映画のスクリーンに目を向け、ヒーローが架空の都市(全世界ではないにしても)を悪から救うので贖いの感覚を感じます。

特にスーパーマンは、1938年に2人のユダヤ人青年が創作した漫画のアイコンです。スーパーマンがモーゼとイエスに似ているため、多くの作家(フィリップス 2013、カバー2016、クラントン 2017)によって注目されています。ユダヤ教とキリスト教の救世主と漫画本のヒーローは、彼らのコミュニティが持つ尊厳や信念、自己犠牲、正義感などを共有しています。しかし、モーゼやイエスとは異なり、現代のコミック・ブック・ヒーローは、既存の世界秩序に内在する体系的な不正義に挑戦することはほとんどありません。彼らは非政治的であり、イデオロギーに関係なく、アメリカ社会の主流である改革とはほど遠い存在です。彼らは現状を支持する傾向があり、限られた数の悪人や地球外の脅威にしか挑戦しません。この決定の背後に経済的戦略がある事は明らかです。潜在的な消費者を遠ざけるような論争を避けることで売上が増加します。

この短いエッセイで私が言いたい主要な点は、英雄と悪役は資本主義市場で造られた商品と見なすことができるということです。現在のアメリカでは、製造と販売は主に二つの非常に大きな系列企業によって行われます。マーベルコミックス(現在はウォルトディズニーと20世紀フォックスの傘下)は、アイアンマン、キャプテンアメリカ、スパイダーマン、キャプテンマーベルなどのヒーローと、その敵であるサノス、ギャラクタス、ヴェノムなどを生み出しました。アーチのライバルであるDCコミックス(現在はワーナー・ブラザーズ、ソニー・エンターテインメント、ATTの系列企業)は、スーパーマン、バットマン、アクアマン、サイボーグ、ワンダーウーマンなどのヒーローを生み出し、ジョーカー、ダークセイド、レックスルーザー、ダークエンジェル、デウムズデイなどの悪役と戦っています。

マーベルと DC コミックは、数百万ドル規模の業界として、主に利益の最大化に関心を持っています。そのための方法の 1 つは、何らかの形で消費者と関連するようなテーマを制作することです。2020 年初頭、アメリカでコロナウイルスが発生して以来、多くの人々がその感染の拡大に強い関心を持つようになりました。当然のことながら、マーベルはパンデミックに関連したテーマでいくつかのコミックブックや映画を制作しました。マーベルの「ヴェノム: 殺戮を放っておけ」(2021 年)では、感染力のあるエイリアンの共生体が人間を滅亡させる様子が描かれています。1971 年にダークコミックのキャラクターとして登場したモービウスは、最近、2022 年に公開される恐ろしい映画のために作り直されました。モービウスの物語は、医学がいかになして、かつて想像もできない恐怖を生み出すのかを明らかにしています。DC コミックも、コロナウイルスの大流行に乗じて、ダークな色合いの映画を提供しています。2021 年 3 月に発表された「ジャスティス・リーグ ザック・スナイダーカット」では意図しない結果として宇宙人の侵略という概念が悪用されています。また、敵対者・ステッペンウルフは、ロキ(北欧のいたずらの神)にも、巨大な金属コロナウイルスにも見えます。8 月に公開された 132 分の大ヒット作である「スーサイド・スクワッド」では、人間に感染する微細な胞子を放出する巨大なエイリアンのヒトデと戦うアンチヒーローを描いています。今後制作されるアメリカ映画には、COVID-19 危機とは関係のないテーマが認められるべきです。しかし、Leckridge(2020 年)が指摘するように、恐れと畏怖は強力な誘引力です。今日、アメリカ最大のコミック・ブック出版社の一部となった映画スタジオの多くは、利益を高めるためにそれらの感情を利用しています。

参考文献

- Campbell, J. (2008). *The Hero with a Thousand Faces*. New York: Pantheon.
- Carlyle, T. (1908). *Sartor Resartus: On Heroes and Hero Worship*. New York: Dutton.
- Clanton, Dan W. Jr. (2017). The origins of Superman: Reimagining religion in the man of steel. In B. D. Forbes & J. H. Mahan (Eds.) *Religion and Popular Culture in America*. Berkeley, CA: University of California Press.
- Cover, N. (2016, September 7). *Superman: The Moses of Krypton*. Retrieved from <https://www.theodysseyonline.com/superman-the-moses-of-krypton>
- Leckridge, B. (2020, October 6). *Attractors – How We Get Stuck*. Retrieved from <https://heroesnotzombies.com/2020/10/06/attractors-how-we-get-stuck/>
- Lule, J. (2001). *Daily News, Eternal Stories: The Mythological Role of Journalism*. New York: Guilford Press.
- O'Connell, S. (2021). *Release the Snyder Cut*. Lanham, MD: Applause Books.
- Phillips, B. (2013 July 15). *Superman Isn't Jesus, He's Moses*. Retrieved from <https://www.hoodedutilitarian.com/2013/07/superman-isnt-jesus-hes-moses/>
- Public Religion Research Institute (PRRI). (2021, July 8). *The 2020 Census of American Religion*. Retrieved from <https://www.prii.org/research/2020-census-of-american-religion/>
- Rosenberg, R. S. (2013). *Our Superheroes, Ourselves*. Oxford University Press.